

2025年2月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月9日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東

コード番号 4343 URL https://www.fantasy.co.jp/

代 表 者(役職名)代表取締役社長

(氏名)藤原 徳也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 管理統括兼 (氏名) 井関 義徳 (TEL) 043 (212) 6203

配当支払開始予定日 2024年10月31日

半期報告書提出予定日 決算補足説明資料作成の有無

決算説明会開催の有無

2024年10月11日

:有

:有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年3月1日~2024年8月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高	与	営業利	l益	経常利	l益	親会社株主 する中間約	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	43, 920	7. 5	2, 870	41.8	2, 014	△17.5	373	△68.3
2024年2月期中間期	40, 840	16. 4	2, 024	582. 3	2, 441	83. 4	1, 181	_

(注) 包括利益 2025年2月期中間期 652百万円(△29.8%) 2024年2月期中間期 928百万円(-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円銭
2025年2月期中間期	18. 91	18. 86
2024年2月期中間期	59. 75	59. 71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	59, 178	9, 112	14. 9
2024年2月期	52, 303	8, 541	15. 9
(A +) + = 'A 000F +			0 007 -

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 8,845百万円 2024年2月期 8,297百万円

2. 配当の状況

			年間配当金		
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	_	5. 00	_	5. 00	10.00
2025年2月期	_	5. 00			
2025年2月期(予想)			_	5. 00	10.00

⁽注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	-高	営業	美利益	経常	约益	親会社株 する当其	主に帰属 別純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86, 700	6. 0	5, 700	59. 0	4, 200	△6.4	1, 600	21. 7	80. 94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2025年2月期中間期	19, 778, 125株	2024年2月期	19,771,725株
2025年2月期中間期	2, 143株	2024年2月期	2,052株
2025年2月期中間期	19, 772, 878株	2024年 2 月期中間期	19, 767, 276株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.当中間期決算に関する定性的情報	 2
(1)経営成績に関する説明	 2
(2) 財政状態に関する説明	 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	 3
2.中間連結財務諸表及び主な注記	 4
(1) 中間連結貸借対照表	 4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	 6
中間連結損益計算書	 6
中間連結包括利益計算書	 7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	 8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	 9
(継続企業の前提に関する注記)	 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	 9
(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)	 9
(追加情報)	 9
(セグメント情報)	 9
(重要な後発事象)	 0

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当社は、「こどもたちの夢中を育み、"えがお"あふれる世界をつくる」というパーパスの実現に向け、新たなビジョンのもと新中期経営計画(2024年~2026年)を策定し、持続可能な社会への貢献と企業価値を高めるべく、事業活動を推進しております。

当中間連結会計期間(2024年3月1日~2024年8月31日)における当社及び連結子会社の連結業績は、売上高439億20百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益28億70百万円(前年同期比41.8%増)、経常利益20億14百万円(前年同期比17.5%減)、親会社株主に帰属する中間純利益3億73百万円(前年同期比68.3%減)となりました。各国為替レートが円高に進み、営業外費用に為替差損5億41百万円(前年同期為替差益5億76百万円)を計上しております。また、収益力実態を示す償却前営業利益は80億83百万円(前年同期差11億57百万円増)となりました。新業態大型店や戦略的小型店の出店を進めている国内及びアセアン事業が好調に推移し、中間連結会計期間の営業収益・営業利益は過去最高を更新しております。中間連結会計期間も主要部門の好調は続いており、国内では猛暑などの気象条件による影響で屋内遊戯施設の需要が高まり、夏休み期間を含む8月度は月間として過去最高の売上高となりました。一方、中国事業におきましては経済活動の不透明な状況が続き売上回復が遅れております。

当中間連結会計期間は新業態を中心に92店舗を出店する一方、不採算店舗等52店舗を閉店いたしました。これらの結果、2024年8月末時点の店舗数は国内737店舗、海外470店舗の合計1,207店舗(直営店1,196店舗、FC等11店舗)となりました。

(国内事業)

国内事業における当中間連結会計期間の業績は、売上高347億76百万円(前年同期比9.4%増)、営業利益33億51百万円(同79.9%増)と、前年同期から14億88百万円増となり中間連結会計期間として過去最高を更新いたしました。

アミューズメントは、従来型の小型専門店を高収益・高付加価値モデルへと進化させた「横丁」業態を開発いたしました。プライズ専門店は、繁華街立地の道頓堀と八王子駅前に「クレーン横丁」2店舗、「PRIZE SPOT PALO」11店舗、合計13店舗を出店いたしました。カプセルトイ専門店は「カプセル横丁」3店舗、「TOYS SPOT PALO」27店舗、合計30店舗を出店いたしました。既存店売上高前年比は106.5%と好調で、売上構成比が最も高いプライズ部門が当中間連結会計期間の既存店売上高前年同期比111.3%となり、特に強化しているお子さま向けのキッズプライズは同125.4%と大きく売上を牽引しております。荒利益率が最も高いメダル部門は、販促活動を継続して強化しており、6月以降に大型投資を行った結果、同105.2%と順調に拡大を続けております。

新規出店は、当中間連結会計期間で47店舗を出店する一方、13店舗を閉店し、2024年8月末の店舗数は737店舗となりました。プレイグラウンドの大型新業態「ちきゅうのにわ」を2店舗出店(累計4店舗)、小型業態の「スキッズガーデン」単独店を1店舗出店(累計2店舗)し、どちらも多くのお客さまにご来店いただき好調に推移しております。

(アセアン事業)

アセアン事業における当中間連結会計期間の業績は、売上高63億89百万円(前年同期比19.6%増)、営業利益7億42百万円(同0.7%増)となり、売上高・営業利益ともに、中間連結会計期間として3期連続で過去最高を更新いたしました。アセアンで主力のプレイグラウンド業態において、特に当社の強みである「独自の内装や遊具」、「高い安全性」、「スタッフの接客力」を強化し競争力の優位性を確保しております。国別には、成長性を重視しているインドネシア・ベトナムにおいて出店拡大を続けており、インドネシアはプレイグラウンド大型新業態「Kidzooona Safari」の出店、アミューズメント「モーリーファンタジー」の再出店を、ベトナムではプレイグラウンドの標準店「kidzooona」と小型新業態の出店を進めました。シェア拡大を進めるマレーシア・フィリピンでは、既存店が好調で売上高の伸びが継続しております。生産性向上を進めるタイでは、大型新業態「Kidzooona Safari」1店舗、「モーリーファンタジー」5店舗を出店するとと

もに、経費の削減による売上総利益率改善を進めております。

当中間連結会計期間は、26店舗を新規出店する一方、8店舗を閉店し、2024年8月末の店舗数は FC5店舗を含め295店舗となりました。

(中国事業)

中国事業における当中間連結会計期間の業績は、売上高28億65百万円(前年同期比24.8%減)、 営業損失12億22百万円(前年同期営業損失5億83百万円)となりました。

経済活動の不透明な状況が継続しており、売上回復が遅れております。不採算店舗の整理につきましては、当中間連結会計期間は31店舗を閉店いたしました。引き続き、不採算店舗の整理を重点的に進めてまいります。既存店は、アミューズメントの区画を縮小し、プレイグラウンドを拡大する店舗活性化を11店舗実施いたしました。R0Iが高い戦略的小型店を18店舗出店するとともに、新規機械・遊具の導入、経費削減を継続して進めており2024年8月末の店舗数はFC6店舗を含め175店舗となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、182億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億71百万円増加いたしました。主な内訳は、当中間連結会計期間末日が金融機関の休日であり、売上預け金のうち夏休み期間に係る8月上旬分が翌月に決済されたことによる売上預け金の増加(45億73百万円)、棚卸資産の増加(4億28百万円)であります。

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、408億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億3百万円増加いたしました。主な内訳は、新店及び店舗活性化に伴う遊戯機械の増加(10億17百万円)及び建物の増加(5億92百万円)であります。

この結果、総資産は591億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ68億75百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、354億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億32百万円減少いたしました。主な内訳は、国内短期借入金の長期転換に伴う短期借入金の減少(69億3百万円)及び1年内返済予定の長期借入金の増加(19億23百万円)、設備関係支払手形の増加(16億47百万円)、未払費用(主に人件費と賃借料)の増加(6億32百万円)、買掛金の増加(4億91百万円)であります。

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、146億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ85億36百万円増加いたしました。主な内訳は、国内短期借入金の長期転換に伴う長期借入金の増加(89億58百万円)であります。

この結果、負債合計は500億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ63億4百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、91億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ 5億71百万円増加いたしました。主な内訳は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上(3億73百 万円)、為替の変動に伴う為替換算調整勘定の増加(2億78百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月10日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

資産の部 流動資産 現金及び預金 売掛金 売上預け金	前連結会計年度 (2024年2月29日) 7,516,588 136,357	当中間連結会計期間 (2024年8月31日) 7,356,393
流動資産 現金及び預金 売掛金		7, 356, 393
現金及び預金売掛金		7, 356, 393
売掛金		7, 356, 393
3-41.	136, 357	, , ,
売上預け金		216, 636
	959, 411	5, 532, 914
棚卸資産	2, 416, 434	2, 845, 096
その他	1, 895, 671	2, 345, 179
流動資産合計	12, 924, 463	18, 296, 220
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5, 871, 504	6, 464, 237
遊戲機械(純額)	17, 690, 783	18, 708, 103
使用権資産(純額)	4, 936, 605	4, 990, 369
その他(純額)	1, 798, 703	2, 068, 095
有形固定資産合計	30, 297, 597	32, 230, 805
無形固定資產		
のれん	113, 358	92, 973
ソフトウエア	1, 262, 921	1, 259, 820
その他	4, 585	4, 339
無形固定資産合計	1, 380, 866	1, 357, 133
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	4, 938, 411	4, 919, 571
その他	2, 761, 724	2, 375, 073
投資その他の資産合計	7, 700, 135	7, 294, 645
固定資産合計	39, 378, 598	40, 882, 584
資産合計	52, 303, 062	59, 178, 805

(単位: 千円)

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1, 862, 629	2, 353, 888
短期借入金	24, 200, 300	17, 296, 78
1年内返済予定の長期借入金	811, 519	2, 735, 21
1年内返済予定の長期割賦未払金	573, 008	576, 37
リース債務	2, 261, 264	2, 208, 16
未払費用	1, 955, 502	2, 588, 00
未払法人税等	1, 029, 901	968, 24
賞与引当金	516, 702	429, 99
役員業績報酬引当金	71, 476	17, 84
閉店損失引当金	269, 483	244, 88
設備関係支払手形	1, 512, 723	3, 160, 27
その他	2, 588, 209	2, 840, 66
流動負債合計	37, 652, 722	35, 420, 34
固定負債		
長期借入金	268, 260	9, 227, 14
長期割賦未払金	1, 068, 136	779, 10
リース債務	3, 479, 579	3, 294, 82
退職給付に係る負債	72, 937	88, 81
資産除去債務	1, 068, 056	1, 122, 86
その他	152, 316	133, 48
固定負債合計	6, 109, 287	14, 646, 23
負債合計	43, 762, 010	50, 066, 57
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 810, 821	1, 820, 12
資本剰余金	4, 829, 464	4, 811, 64
利益剰余金	3, 019, 873	3, 295, 00
自己株式	△4, 635	△4, 83
株主資本合計	9, 655, 524	9, 921, 94
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	$\triangle 1, 434, 669$	△1, 156, 29
退職給付に係る調整累計額	76, 542	79, 40
その他の包括利益累計額合計	△1, 358, 126	△1, 076, 89
新株予約権	37, 947	37, 35
非支配株主持分	205, 707	229, 82
純資産合計	8, 541, 051	9, 112, 23
負債純資産合計	52, 303, 062	59, 178, 80

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日	(単位:千円) 当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日
	至 2023年8月31日)	至 2024年8月31日)
売上高	40, 840, 898	43, 920, 303
売上原価	35, 559, 081	37, 517, 023
売上総利益	5, 281, 817	6, 403, 280
販売費及び一般管理費	3, 257, 713	3, 532, 979
営業利益	2, 024, 103	2, 870, 301
営業外収益		
受取利息	34, 383	41, 639
為替差益	576, 824	_
受取保険金	19, 464	43, 778
固定資産売却益	418	1, 629
預り金受入益	845	7, 463
リース解約益	40, 605	135, 158
增值税還付金	25, 519	-
その他	24, 889	55, 852
営業外収益合計	722, 950	285, 523
営業外費用		
支払利息	262, 834	326, 625
為替差損	-	541, 101
固定資産売却損	9, 309	10, 368
資金調達費用	_	187, 770
その他	33, 151	75, 795
営業外費用合計	305, 295	1, 141, 661
経常利益	2, 441, 757	2, 014, 163
特別利益		
減損損失戻入益	21, 213	_
閉店損失引当金戻入額	_	41, 912
特別利益合計	21, 213	41, 912
特別損失		·
閉店損失引当金繰入額	15, 143	171, 660
減損損失	233, 249	176, 249
店舗閉鎖損失	35, 879	78, 795
特別損失合計	284, 272	426, 705
税金等調整前中間純利益	2, 178, 698	1, 629, 370
法人税、住民税及び事業税	568, 005	836, 188
法人税等調整額	416, 521	411, 495
法人税等合計	984, 527	1, 247, 683
中間純利益	1, 194, 171	381, 686
非支配株主に帰属する中間純利益	13, 080	7, 704
親会社株主に帰属する中間純利益	1, 181, 091	373, 982
Mary Janking Colombia / or Hilling 17mm		010, 002

中間連結包括利益計算書

		(単位:千円)_
	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	1, 194, 171	381, 686
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△273, 570	267, 659
退職給付に係る調整額	7, 960	2, 864
その他の包括利益合計	△265, 609	270, 524
中間包括利益	928, 562	652, 211
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	903, 733	655, 217
非支配株主に係る中間包括利益	24, 828	△3, 006

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日	(単位:千円) 当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日
営業活動によるキャッシュ・フロー	至 2023年8月31日)	至 2024年8月31日)
税金等調整前中間純利益	2, 178, 698	1, 629, 370
減価償却費	4, 902, 287	5, 213, 264
固定資産除売却損益(△は益)	25, 126	27, 495
賞与引当金の増減額(△は減少)	△102, 683	△87, 505
受取利息	△34, 383	△41, 639
支払利息	262, 834	326, 625
為替差損益(△は益)	△576, 824	541, 101
受取保険金	△19, 464	△43, 778
リース解約益	△40, 605	△135, 158
減損損失戻入益	△21, 213	_
減損損失	233, 249	176, 249
売上債権の増減額(△は増加)	△767	△80, 961
売上預け金の増減額(△は増加)	$\triangle 1, 245, 046$	$\triangle 4,570,831$
棚卸資産の増減額(△は増加)	△496, 511	$\triangle 433, 402$
仕入債務の増減額(△は減少)	802, 262	486, 386
その他	△864, 292	785, 433
小計	5, 002, 665	3, 792, 651
利息の受取額	15, 209	14, 812
利息の支払額	△266, 499	△334, 215
法人税等の支払額	△322, 370	△891, 498
営業活動によるキャッシュ・フロー	4, 429, 005	2, 581, 753
投資活動によるキャッシュ・フロー 有形固定資産の取得による支出	$\triangle 4, 244, 040$	$\triangle 4, 397, 634$
有形固定資産の売却による収入	13, 469	21, 237
無形固定資産の取得による支出	△294, 132	$\triangle 205, 311$
長期前払費用の増加による支出	$\triangle 212,587$	△80, 643
敷金及び保証金の差入による支出	$\triangle 323,072$	△454, 034
敷金及び保証金の回収による収入	135, 612	264, 184
その他	△51, 406	△92, 972
投資活動によるキャッシュ・フロー	$\triangle 4,976,158$	△4, 945, 174
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3, 590, 226	△6, 920, 844
長期借入れによる収入	_	12, 494, 297
長期借入金の返済による支出	△655, 504	$\triangle 1,652,657$
配当金の支払額	△98, 834	△98, 848
リース債務の返済による支出	$\triangle 1, 246, 281$	△1, 322, 469
割賦債務の返済による支出	△282, 331	△285, 663
その他	△459	△200
財務活動によるキャッシュ・フロー	1, 306, 813	2, 213, 612
現金及び現金同等物に係る換算差額	104, 327	△10, 866
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	863, 988	△160, 675
現金及び現金同等物の期首残高	6, 058, 627	7, 491, 499
現金及び現金同等物の中間期末残高	6, 922, 615	7, 330, 824

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動) 該当事項はありません。

(追加情報)

(重要な会計上の見積り:固定資産の減損)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り:固定資産の減損)に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

- I 前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内	報告セクアセアン	ゲメント 中国	計	調整額(注)	中間連結 中間連結 損益計算書 計上額
売上高						F1 — F1
外部顧客への売上高	31, 687, 429	5, 343, 806	3, 809, 662	40, 840, 898	_	40, 840, 898
セグメント間の内部売上高 又は振替高	105, 215	_	-	105, 215	△105, 215	_
計	31, 792, 644	5, 343, 806	3, 809, 662	40, 946, 113	△105, 215	40, 840, 898
セグメント利益又は損失(△)	1, 863, 442	737, 488	△583, 578	2, 017, 352	6, 750	2, 024, 103

- (注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 (固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間に、「国内」セグメント1,349千円、「アセアン」セグメント20,774千円、「中国」セグメント211,125千円の減損損失を計上しております。

- Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

		報告セク	調整額	中間連結 損益計算書		
	国内	アセアン	中国	計	(注)	利益計算者 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	34, 665, 111	6, 389, 274	2, 865, 917	43, 920, 303	_	43, 920, 303
セグメント間の内部売上高 又は振替高	110, 912	_	_	110, 912	△110, 912	_
計	34, 776, 023	6, 389, 274	2, 865, 917	44, 031, 216	△110, 912	43, 920, 303
セグメント利益又は損失(△)	3, 351, 402	742, 558	△1, 222, 875	2, 871, 086	△785	2, 870, 301

⁽注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 (固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間に、「アセアン」セグメント13,564千円、「中国」セグメント162,684千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。